

平成 22 年 6 月 30 日

横浜市健康福祉局長 立花 正人 様

横浜市精神障害者生活支援センター
指定管理者選定委員会
委員長 伊東 秀幸

横浜市精神障害者生活支援センター（6館）の第2期指定管理者の選定について

平成 22 年 3 月 29 日に依頼のありました横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者の選定について、公募により応募のあった団体を対象として書類審査及びヒアリングを実施しました。この度、選定結果がまとまりましたので、横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会運営要綱第 10 条の規定に基づき、別紙のとおり報告します。

横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会 選定結果報告書

横浜市精神障害者生活支援センター（6館）の指定管理者の選定を行いましたので、以下のとおり選定結果を報告します。

1 横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会委員

委員長 伊東 秀幸（田園調布学園大学 社会福祉学科 教授）

委員 米倉 令二（特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会 副理事長）

浅野 拡夫（横浜市精神障害者地域生活支援連合会）

高野 静子（特定非営利活動法人 共に歩む市民の会 理事）

上甲 雅敬（上甲会計事務所 税理士）

2 選定経過

時 期	経 過
平成 22 年 4 月 9 日	第 1 回選定委員会開催 （選定基準、選定スケジュール等の決定、公募要項等の確認）
平成 22 年 4 月 13 日 ～平成 22 年 5 月 13 日	公募要項配布 （ホームページ等による公募要項、業務の基準の配布）
平成 22 年 5 月 14 日	応募説明会開催 （6 団体が参加）
平成 22 年 5 月 17 日 ～平成 22 年 5 月 21 日	現地見学会 （参加申込が 1 団体あったが途中辞退のため未実施）
平成 22 年 5 月 24 日 ～平成 22 年 5 月 26 日	公募要項に関する質問受付 （4 団体から質問あり）
平成 22 年 5 月 28 日	公募要項に関する質問回答
平成 22 年 5 月 31 日 ～ 6 月 4 日	応募受付（5 団体）各センター現運営法人のみ （指定申請書ほか応募書類一式の受付）

平成 22 年 6 月 16 日	第 2 回選定委員会開催 神奈川県生活支援センター、磯子区生活支援センター応募 法人プレゼンテーション・ヒアリング
平成 22 年 6 月 22 日	第 3 回選定委員会開催 栄区生活支援センター、港南区生活支援センター応募 法人プレゼンテーション・ヒアリング
平成 22 年 6 月 24 日	第 4 回選定委員会開催 保土ヶ谷区生活支援センター、緑区生活支援センター応募 法人プレゼンテーション・ヒアリング
平成 22 年 6 月 25 日	第 5 回選定委員会開催 (各応募法人採点表および選定結果の確定)

3 選定結果

(1) 指定管理施設・指定候補者

- (ア) 横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター ・(財) 横浜市総合保健医療財団
- (イ) 横浜市栄区精神障害者生活支援センター ・(福) 恵友会
- (ウ) 横浜市港南区精神障害者生活支援センター ・(福) 新生会
- (エ) 横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センター ・(福) 横浜市社会事業協会
- (オ) 横浜市緑区精神障害者生活支援センター ・(財) 紫雲会
- (カ) 横浜市磯子区精神障害者生活支援センター ・(財) 横浜市総合保健医療財団

(2) 審査結果

各センターへの応募団体(5団体)について、公募要項が定める応募の資格があり、欠格事項に該当がないことの確認を行った上で、応募書類の審査及びヒアリングを実施し、選定基準に基づく採点を行いました。

選定基準では、複数団体の応募を想定していましたが順位点により選定することとしておりましたが、各センター1団体のみのお応募となりましたので、委員会の定める最低基準である、「各委員の採点結果の平均点が合計点の5割(65点)を満たしたか」により採点・審査を行いました。

その結果、下記表のとおり、全応募団体とも各委員の素点の平均点が5割以上となりました。なお、審査項目及び配点、並びに選定基準に基づく当該団体の採点結果の詳細等については別紙「採点表」のとおりです。

施設名	団体名	各委員平均点 (130点満点)	各委員合計点 (650点満点)
横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター	財団法人 横浜市総合保健医療財団	105点	525点
横浜市磯子区精神障害者生活支援センター	財団法人 横浜市総合保健医療財団	96点	480点
横浜市栄区精神障害者生活支援センター	社会福祉法人 恵友会	104.6点	523点
横浜市港南区精神障害者生活支援センター	社会福祉法人 新生会	93.6点	468点
横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センター	社会福祉法人 横浜市社会事業協会	103点	515点
横浜市緑区精神障害者生活支援センター	財団法人 紫雲会	98.2点	491点

(3) 審査総評

施設名	団体名	総評
横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター	財団法人 横浜市総合保健医療財団	市内第1館目の生活支援センターを運営してきた法人として、具体的事業内容の取組みについては他の生活支援センターを牽引するリーダーシップを発揮し、今後は、更に自主的に先駆的事业へ取り組まれることが期待される。
横浜市栄区精神障害者生活支援センター	社会福祉法人 恵友会	地域交流が盛んであり、継続して実施されたい。家族支援については更なる事業の充実を検討されたい。法人の運営方針に沿って、今後も充実した運営が期待される。
横浜市港南区精神障害者生活支援センター	社会福祉法人 新生会	様々な事業所の運営実績がある法人として、職員育成を計画的に行い、各事業所と横の連携を取りながら運営のノウハウを生かしていただきたい。 主体性を持ち、地域の課題を積極的に拾い上げる運営姿勢が期待される。

<p>横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センター</p>	<p>社会福祉法人 横浜市社会事業協会</p>	<p>事業計画書の内容が実現されるよう、「思い」だけではなく実現に向けた具体的取組みへ着手されることが期待される。ピア活動への取組みについても、更なる充実が必要である。</p>
<p>横浜市緑区精神障害者生活支援センター</p>	<p>財団法人 紫雲会</p>	<p>精神科有床病院を運営する法人としての特徴を生かしつつも、生活支援センターの担う役割を意識し、更なる事業の充実を期待したい。</p> <p>財務状況については、病院の収支が安定するように努力されたい。</p>
<p>横浜市磯子区精神障害者生活支援センター</p>	<p>財団法人 横浜市総合保健医療財団</p>	<p>神奈川区生活支援センターの運営方針との違いをより明確にし、地域特性を掴み、地域の課題を拾い上げながら、より主体的な事業展開を期待する。</p>